

◎地方道（県道）の整備について

主要幹線となっている県道の改良・整備を要望します。

路線名	事業箇所	事業内容
主要地方道大石田畑線	豊田地内	道路改良
主要地方道新庄次年子村山線	次年子地内	道路改良
一般県道大石田名木沢線	鷹巣地内	防雪柵整備
一般県道村山大石田線	小菅地内	防雪柵整備
主要地方道大石田畑線	豊田地内	流雪溝整備
主要地方道大石田畑線	大浦地内	流雪溝整備
一般県道尾花沢大石田線	本町・四日町地内	流雪溝改良

◎五十沢川河川改修事業の早期完成

五十沢川の最上川合流点から鉄道橋梁までの区間は、最上川本川の計画とともに国直轄事業により堤防整備を完了していますが、鉄道橋梁から上流区間については、五十沢川の自己流堤となっています。令和2年7月豪雨災害時には、最上川本川の水位上昇により、背水（バックウォーター現象）が発生したため、鉄道橋梁上流部において越水し、今宿地区等で浸水被害が発生しました。五十沢川河川改修事業の早期完成について強く要望します。

農林関係の要望

◎大堤防災減災事業の早期完成

大堤は農業用水の水源として重要な役割を持つため池ですが、堤体整備から40年以上が経過しており、平成29年度調査により耐震強度が現行の安全基準を満たしていないことが判明し、安全率確保のため貯水量を満水時の約3割低下させて維持しています。水源としての本来の貯水機能回復と、地域住民の安全な生活の確保のため堤体改修工事の早期完成について強く要望します。

◎旧鉱物採掘区域復旧事業の継続

当町では、過去の石炭鉱業や亜炭鉱業の採掘をきっかけとする地表の沈下などによる「特定鉱害」が亀井田地区内の農地等で多く発生しています。復旧には国や県の補助事業を活用し鉱害復旧を実施していますが、事業期間が令和8年度末までとされており、補助事業が喪失した場合、財政的に脆弱な当町は復旧事業の実施が困難となり、荒廃農地の拡大や資産価値の下落が危惧されます。令和9年度以降も引き続き、復旧経費の財政支援や制度の継続を強く要望します。

保健関係の要望

◎北村山公立病院組合への財政支援

地域医療を取り巻く状況は医師の偏在に加え看護師や助産師の確保も厳しい状況が続いていることにより、一層厳しさを増しています。

また、当院の病棟部分の半分は築50年を経過し老朽化が著しく建替を望む住民の声も高まっており、整備が急務になっています。県立病院のない北村山地域において、住民が安心して住み続けるため重要な役割を果たす北村山公立病院に対する財政面の支援を強く要望します。

教育関係の要望

◎大石田町立小学校統合事業への財政支援

令和2年度総合教育会議において、小学校統合を進める際のポイントを示し、基本的な考え方を明確にしたうえで令和9年度4月開校に向けて準備を進めています。しかしながら、昨今の世界情勢の緊迫化や国内情勢の先行きが不透明な状況下で、資材価格や燃料価格、人件費の高騰により、当初見据えていた建築設計委託料や工事請負費での整備事業実施が困難な状況にあります。

また、GIGAスクール構想の推進におけるICT環境の整備や持続可能な脱炭素社会の実現に向けた2050年カーボンニュートラル達成の取組み対しては更なる財政支援が必要です。国や県が掲げる目標を達成し、未来を担う子どもたちの教育環境の整備のため、整備事業費等に対する財政面の支援を強く要望します。

令和6年度 大石田町

重要事業

このたび、来年度国や県に事業の採択や継続を要望する「大石田町重要事業」がまとまりました。流雪溝整備の早期着手や地方道の整備、大堤防災減災事業の早期完成など11の事業について、町と議会が一体となって国や県に要望を行います。

財政関係の要望

◎社会資本整備総合交付金の優先的な配分

当町は全国屈指の“超”豪雪地帯であることから、冬期間の交通確保のため、毎年除排雪に多大な労力と財政負担を強いられています。全町民を対象としたアンケート調査では、住みにくいと感じる1番の理由に「雪が多い」ことが挙げられており、人口流出を食い止めるためには雪問題の解決が必須です。

また、除雪ドーザや大型ダンプが稼働することによる道路の損傷は避けられず、毎年、道路の維持補修が不可欠です。しかし、財源として活用している社会資本整備総合交付金の配分率は要望額の43%程のため、除雪機械の更新を最優先とせざるを得ず、必要な道路改良事業に取り組むことを断念している状況にあります。同交付金の優先的な配分について強く要望します。

▼豪雪による倒木



建設・都市計画関係の要望



◎今宿・新町地区および小菅地区流雪溝整備事業の早期着手

今宿・新町地区および小菅地区は、流雪溝が未整備であり、やり場のない雪が、道路や歩道に高く積み上げられて壁となり、交通を阻害するなど生活に多大な支障をきたしています。取水量確保の支援および流雪溝面的整備の早期着手について強く要望します。

◎駒籠地区流雪溝機能強化

駒籠地区では県道に流雪溝が整備されていますが、最上川からの取水量の確保が不十分であり、家屋密集地における町道では流雪溝が未整備であるため、除排雪に苦慮しています。県道および町道流雪溝整備に必要な取水量の確保等の機能強化に向けて要望します。

◎鷹巣地区流雪溝面的整備事業（一般県道大石田名木沢線流雪溝整備工事）の早期完成

鷹巣地区は、国土交通省の直轄事業である消流雪用水導入事業が平成24年度に事業着手され、10年以上が経過しましたが未だ完成に至っていません。冬期間における住民生活の不便を解消するため、鷹巣地区流雪溝面的整備事業の推進について強く要望します。



◎ミッシングリンク（未整備区間）解消に向けた主要地方道大石田畑線の早期整備

主要地方道大石田畑線は国道347号に連結し、東北中央自動車道や国道13号および一般県道尾花沢大石田線にアクセスする重要路線ですが、要望区間が未整備のためネットワークを形成していません。地域の産業・経済の発展および観光推進に不可欠な道路ですので、早期整備着手について要望します。